



第4号

2025年5月1日発行

がん患者さんとそのご家族へ

外来治療センターだより

オリーブ



オリーブは「幸せを呼ぶ木」と言われ、
花言葉には「平和」「やすらぎ」「知恵」などがあります。
がん患者さんやそのご家族のからだやこころの不安やつらさが
少しでもやすらぐような情報を発信していきます。



治療と仕事の両立について



厚生労働省
「治療と仕事の両立支援ナビ」
<https://chiryoutoshigoto.mhlw.go.jp/>
イメージキャラクターの「ちりょうさ」です

仕事を続けながら、がん治療をすることは
難しいと思いませんか？

「治療に専念するために仕事を辞める。病気が落ち着いたら仕事を探せばよい。」
過去には、そう考えられていた頃もありました。



しかし今はそうではなくなってきました。

がん治療の進歩により、根治または寛解される方が増え、
寛解せずとも治療を続けることにより

病気の進行を抑えることができるようになってきました。

さらに、吐き気や痛みなどの治療による副作用を和らげる薬も
効果の高いものが次々に発売されています。

それにより、治療をしながら

日常生活を送ることができるようになってきました。

また一部のがんでは病気の進行を抑えるため、

病気の再発を抑えるために年単位の長期間の治療が必要なこともあります。

がんは不治の病と言われていましたが、今は、がんと共存して生きていく時代になったわけです。

一方で、治療には相応のお金がかかることも事実です。長い期間治療を続けるとなるとなおさらです。そのために仕事を続けたいという方もいらっしゃるでしょう。またご自身の持つ技術を生かして社会に貢献し続けたいと思っていられる方もいらっしゃるでしょう。仕事では病気のことを忘れられる、職場の同僚と話をすることで気持ちが和らぐ、という声もお聞きます。

一度仕事を辞めてしまうと再就職が難しいことも現実です。

そして医師の立場としては、仕事を続けることで規則正しい生活を維持でき、
また体力の維持にもつながります。それは治療の継続にも良い影響になると感じています。

では、職場にどう伝えたらよいのでしょうか？

治療のために入院が必要なこともあるでしょう。治療の副作用を和らげる薬があるとはいえ、場合によってはフルタイムで働くことが負担なこともあるでしょう。

業務内容や就業時間を調整してもらえたら仕事を続けられるのに…

ということもあると思います。





当院では、「仕事を続けながら、がん治療をしたい」という方の力になりたいと考えています

主治医としては、患者さんの仕事の内容を知ること、治療の選択肢を説明する時、副作用の対応をする時に参考になります。「こういう仕事をされているから、この副作用がでると困るな。だったら、この薬の方がいいな。」と考えることができます。でも実際には、限られた診察時間の中で、患者さんの仕事の内容をしっかりと把握することが難しいことも事実です。

一方、職場側ですが、私自身、産業医の資格を持っているので職場側の意見を聞く機会がたびたびあります。「がん治療をしているらしいけど、職場は何に気をつけてあげたらよいのだろう？」「時々、つらそうにしているけれど、こんな重労働を続けさせてよいのだろうか？」「この先、どのくらい治療が続くのか、命が危ない状態なのか、全然わからなくて…」と、主治医の意見を聞きたいという声をよく耳にします。

そこで当院では、職場から業務内容に関する書類を頂き、病院からは治療方針や副作用、注意してほしいことを記載した書類を作成し職場にお渡しするという形で連携を取っています。あくまでも治療の中心は患者さんですので、職場へ伝える情報は患者さんの了承を得たものに限っています。患者さんの知らないところで職場に情報が伝わることはありませんのでご安心ください。



この連携には“両立支援コーディネーター”という専門の資格を持つ職員(看護師または医療ソーシャルワーカー)がサポートしますので、単純な書類のやり取りに限らず、患者さんから直接お話をうかがって対応します。なお、この連携は正規雇用だけでなく、非正規雇用、定年後再雇用の方も対象です。遠慮なく、医師、看護師にお声がけいただくか、がん相談支援センター(2階②④)のドアを  とノックしてください。

なお、個人事業主(自営業)の方は、この連携の対象ではありませんが、他の制度をご案内できることもありますので、がん相談支援センターまでお越しください。その他、社会保険労務士との面談(予約制)も可能ですので、ご希望の方はがん相談支援センターまでいらしてください。

『治療のために仕事を辞める必要はない。 私たちは、治療だけでなく、 治療と日常生活の両立も支援していきます』



待って!!
辞めないで!

がん治療と仕事の両立を
一緒に考えてみませんか?



詳しくは『2階 ②がん相談支援センター』
までお越しください
市立青森総合医療センター

院内にこのような(左図)ポスターがあることはご存知ですか?伝えたいことがたくさんあるので、全部で6種類も作ってしまいました!

このポスターの意図はこういうことなのです。私たちの気持ちを感じていただけましたでしょうか。

文責 外来治療センター長
呼吸器内科 副部長 医師 本田樹里